

対ソロモン草の根・人間の安全保障無償資金協力
「フレペロコミュニティ水供給・公衆衛生向上計画」供与式

令和2年7月25日、イザベル州サマソドゥ地区にて「フレペロコミュニティ水供給・公衆衛生向上計画」の供与式が行われました。本式典には、州政府関係者をはじめ、支援に関わったコミュニティ代表など約200名が参列しました。

同資金協力では、経年によって老朽化したコシシコミュニティの水供給の整備を目的とし、水供給設備（ダム1基、水圧制御タンク1基、貯水タンク1基、取水口24基、水道管）の修復、及び小学校のトイレ施設8基を設置するための資金（56,441米ドル（460,558ソロモンドル））が供与されました。

本案件によって、45世帯・300名のコミュニティに対し、深刻な水不足が緩和されると共に、ワニが生息する海での危険な水浴びが回避され、水由来の病気の軽減も期待されています。また、現地小学校のトイレ施設建設によって、児童の衛生環境も改善されました。

参列した州議会議員より、「水は命であり、皆の生活に欠かせないものです。日本からのこの寛大な救命プロジェクトに感謝いたします。」と謝辞が述べられました。

完成した給水施設・公衆トイレ



代表者によるスピーチ



現地住民



集合写真

